

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ヨハネ 11:25-26 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 25番 おおくのかむり
- *交読文 …… 62番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 155番 さかえあれ、死に勝ちて
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 聖餐式 …… 281番
- メッセージ …… キリストの十字架と復活に私達が参加する方法(ローマ 6:5-11)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 …… 154番 救いの主はハレルヤ
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

_____は、神に生きるために、律法によって律法に死んだ。_____はキリストと共に十字架につけられた。生きているのは、もはや、_____ではない。キリストが、_____のうちに生きておられるのである。しかし、_____がいま肉にあって生きているのは、_____を愛し、_____のためにご自身をささげられた神の御子を信じる信仰によって、生きているのである。(ガラテヤ 2:19-20)

泣くな。見よ。ユダ族から出た獅子、ダビデのひこばえが勝利を得たので、七つの封印を開いて、その巻物を開くことができる。(黙示 5:5)

この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、次のように書かれている言葉が実現するのです。「死は勝利にのみ込まれた。死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。」_____の主イエス・キリストによって_____に勝利を賜う神に、感謝しよう。(1コリント 15:54-57)

本日は復活祭、イエス様がよみがえられた事を記念する日である。人は思う。イエスというお方が 2000 年前に十字架上で死んで復活した事が、現代の自分とどんな関係があるのだろうか、また、イエス様の死と復活は今の私達に何の関係があるのか、と。本日、よみがえりの主と私達との関係を、論理的に学びたい。

私達がやがて死ぬ事、それは誰も否定しようがない。それは、はじめの人アダムの御言葉への不従順により、罪と死の呪いが私達を含む全被造物に導入されてしまったからだ。私達は思う、それは不条理だと。

私達はアダムの時代、生まれていなかったし、アダムの罪に参加した記憶は無い。しかしヘブル 7 章で、メルキゼデク(イエスキリスト)はレビ系の祭司よりも優れた祭司であると説明しているのだが、その理由は、アブラハムがメルキゼデクに十分の一の捧げものを捧げた時、アブラハムの「腰にいた」レビもまたその時同時に捧げた、と書いてある。そうであるからには、私達も含め、**全人類はアダムの「腰にいた」時、アダムと一緒に罪を犯したのだ**。私達は必ず死ぬ以上、私達全てには、神に逆らう罪があり、処罰を受ける対象者である事には変わらない。「罪の支払う報酬は死である」(ローマ 6:23a)と書いてある通りである。

実に不条理である。私達は生まれながらの状態では、自身の過ちと罪の中で死んでおり、この世を支配するサタンの支配下で、過ちと罪を犯しながら人生を歩む、生まれながらの御怒りを受けるべき者で、罪の債務証書が、私達を責め立てているのだ。しかし主は、そんな不条理の中でもがき苦しむ私達のために、罪が無いのに身代わりに罪の処罰を受けるといふ、究極の不条理によって私達を救って下さったのだ。

イエス様は十字架の時、私達を訴える罪という「債務証書」を、流された血によって帳消しにし(コロサイ 2:14)、決して届かなかった「永遠の命」を、ご自分のいのちという代金で、支払い済みにして下さった。

これは既に行われた真理であるが、この「救い」は、人類の誰も彼もが自動的に適用されるものではない。「信仰」により、イエス・キリストを「私の主」とする人にのみ、それが適用されるのだ。そのわけは、こうである。

パウロはガラテヤ 2 章で「わたしはキリストと共に十字架につけられた」と言っているが、果たしてパウロは、イエス様の十字架の場面に一緒につけられただろうか？いない。私達はどうか。その時代、私達はそもそも生まれていない。ではどうしてキリストの十字架と関係する事ができるのか。それは、信仰によってである。

「信仰(behid)とは「連合(be)し」「バンドする(hid)」事が元来の意味であり、私達・人間の側が、神様に対し、そして御言葉に対して為すべき分である。また、信仰をあらわすヘブライ語「エムナー」は「上昇する」という概念があり、エムナーの動詞「アーメン」には「サポートする、確認する、忠実である」の意味もある。

すなわち、信仰とは「組する事」「参加する事」とも言える。つまりパウロは、イエス様を信じた時、信仰によってイエス様の十字架に組し、参加したのであり、それは**私達イエス様を信じる人も全員、一緒なのだ!**

「私達の内の古き人はキリストと共に十字架につけられた。それは、この罪のからだが減び、私達がもはや、罪の奴隷となる事がなかったためである。」(ローマ 6:6) パウロは言っている。私達がアダムの腰にいた時、アダムと共に罪に「参加」し、罪に支配され死ぬようになった「古き人」は、キリストの十字架に、信仰によって「参加」する事により、キリストと共に十字架につけられた、と。パウロは、古い自分を十字架に釘付けた、と言っている。私達も、同じ事ができるのである！信仰により、キリストの十字架に参加する事によって!

以上は、キム・ヒョンジョン博士が論文に書いた「参加神学(コイノニアセオロジー)」に基づく内容である。

私達は時間に縛られ、過去に犯してしまった事は、どうする事もできない。過去は変えられないが、しかし信仰は時間を超越し、アダムの時代という”大過去”に犯してしまった罪について、イエス様が十字架でして下さった事に、信仰によって参加する事によって、帳消しにする事が可能なのである。『もし私達が、彼に結びついてその死の様に等しくなるなら、さらに、彼の復活の様に等しくなるであろう。』(ローマ 6:5) 神は時間を超越しておられるお方であるが、私達が唯一、時間をどうにか出来るのは、「信仰」のみである。だから赦しは、イエス様が十字架にかかった時、そこに自分も参加した、と、告白した人だけのものである。だから告白は大事であり、キリストの御業に「参加する」事が、とても大事である。信仰には、行いという実体が伴っているべきであり、口先だけで行いが無いのでは、参加したとは言えない。今日、十字架の御元において、行いという実体と共にキリストの十字架に参加し、その復活に参加する皆さんでありますように!

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30～
2部礼拝 14:00

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜礼拝

金曜徹夜祈祷会 21:00～
1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube